

課題の共有化と解決に向けて

鳥取県高等学校東部地区同和教育研究会の取り組み

高校生の思い

「自分には仲間がいるということ
がわかり、勇気づけられた。
胸張って好きなように生きれば
いいじゃないか。」

「仲間と出会えて、同じ悩みや
活動についてたくさん話し合え
た。いっしょにがんばっていけ
るんだ。」

「人の意見を聞くことによって、
自分の行動や発言は、本当にこ
れでよいのかと考えさせられ
た。」

「差別をなくしていくには、一
人ひとりが積極的に活動してい
かなければいけない。」

これは、今年八月に行った鳥
取県高等学校東部地区同和教育
研究会（以下「東部高同研」）
主催の部落解放研究会（以下
「解放研」）リーダー泊研修の
中での生徒の感想です。



東部高同研とは

東部高同研は、同和教育の
研究と各高校の課題を解決す
るための実践を大切にしながら
活動しています。メンバー
は、東部の高校・盲、聾、養
護学校の同和教育主任を中心
に二十名で構成。組織として
は、定例理事会と三つの小委
員会があります。

定例理事会は、年七回開き、
全会員が出席します。小委員
会の活動の成果を持ち寄り、
そこで議論を重ね、再び各

委員会に課題を返していきま
す。

解放研との交流

解放研は、生徒の部活動で、
同和教育のあり方や人権問題
について語り合ったりしてい
ます。東部高同研では、東部
全体でこの解放研を交流させ
る取り組みを行っています。

今年、人権啓発音楽グル
ープ「願児我楽夢」のコンサ
ートに参加し、感想や意見を
交換し合うといった事業を行
いました。

昨年は、解放研のつながり
の強化を目指した「解放研代
表者会」の立ち上げを支援し

ました。この会では、各高校
の解放研の代表者が、活動上
の悩みや校内で発生した差別
事象について話し合い、理解
を深め合っています。このよ
うな動きの中で、すべての高
校の校長との交流会も実現す
ることができました。

「解放研代表者会」の取り
組みは、私たち東部高同研が
最も大切にしている「課題の共
有化と解決に向けての実践」そ
のものだと思っています。今後も、
このような活動を通じて被差
別の立場にある高校生の支援
を行っていきたいと考えてい
ます。

鳥取城北高校教諭 矢部公章

小委員会の主な活動内容

進路保障委員会

就職試験の面接時における公
正性を実現するため受験報告
書の採用

鳥取県町村会に対して、職員
採用試験時の国籍条項撤廃の
要請

鳥取県教育委員会に対して、
授業料減免との併用禁止など
鳥取県育英奨学金制度の問題
点の改善要請

教育内容委員会

同和問題についての意識調査
の実施

差別事象の総括と教育内容の
検討

刊行物の発行

自主活動委員会

生徒の自主活動の支援